
必須項目：以下のいずれか一つを満たすこと

1. 心筋BMIPPシンチグラフィにおける脂肪酸代謝障害（洗い出し率10%未満）
2. 心筋生体組織診断（生検）における心筋細胞内脂肪蓄積（1）
3. 心臓CT、MRスペクトロスコピーにおける心筋脂肪蓄積

大項目：

1. 左室駆出率 40%未満
 2. びまん性冠動脈硬化（2）
 3. 典型的Jordans異常（3）
-

確定診断 (definite)：必須項目と大項目それぞれを少なくとも1個満たす場合。

疑診 (probable)：必須項目を1つでも満たす場合

参考所見： 糖尿病、血液透析（4）

脚注

- (1) 組織内の脂肪蓄積はパラフィン切片ではなく、凍結切片やオスミウム処理で脂質の溶出を防止する必要がある。判定困難な場合は、TGCV研究班で解析すること可能である。
- (2) 有意狭窄の有無は考慮しない。
- (3) 末梢血スミア標本のメイギムザ染色等により顆粒球のほとんどすべてに明瞭な空胞が存在する。スミア標本や写真の送付で、TGCV研究班で判断することも可能である。
- (4) 参考所見： 研究班のこれまでの剖検心解析、小規模コホート研究から因果関係は不明だが、糖尿病例、透析例に一定の頻度でTGCV患者が存在することが明らかになっている。
- (5) BMIPP心筋シンチグラフィ、心臓CT、心臓MRSの撮像プロトコールが必要な場合は、研究班に連絡してください。
- (6) 原発性TGCV/特発性TGCVの分類アルゴリズムは別添をご参照ください。
- (7) 診断困難例については、研究班に連絡してください。
- (8) 研究班連絡先： 〒565-0874 吹田市古江台6-2-3 理化学研究所大阪キャンパス内
大阪大学 CNT（平野賢一）研究室、中性脂肪研究センター
TEL/FAX: +06-6872-8215, E-mail: tgrc@cnt-osaka.com